

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	こどもエコクラブ活動補助事業	事業コード
		1002

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	自然環境の保全

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	小・中学生の環境活動を促進し、環境保全に対する意識・知識の向上、将来の環境市民育成を図る。				
	概要	小中学校の各クラブによる環境保全活動に対し補助金を交付。各こどもエコクラブは、活動報告会（発表会および壁新聞掲示）を実施する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	補助金交付は市、事業実施はNPOとの協働				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	こどもエコクラブ活動報告会の開催		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	こどもエコクラブの活動支援（補助件数）※ H23より1団体あたりの補助額の変更（2万円→10万円）		件	目標値	10	10	10		
				実績値	10	10	10		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	こどもエコクラブ活動校数		校	目標値	10	12	12	12	12
				実績値	10	11	12		
計算根拠	こどもエコクラブ取組み学校数		達成率(%)	100	91.7	100			
			実数値						
			ランク	A	B	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.05			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	600	600	600	520	480			
	決算額	500	478	400	520				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	小・中学生による早い時期からの環境保全への取り組みは、一生涯の環境教育・学習を定着させるために必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	次世代への環境に関する意識付けという観点から非常に重要かつ必要である。また、市、環境まちづくり委員会、民間団体等との密接な連携が必要であるため、市がパイプ役になる必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	1クラブ年間2万円を基準に支援しているが、登録会員を増加させるためには経費削減しない必要がある。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	児童・生徒に対する環境教育の一環として実施しているものであり、クラブ会費徴収等による財源確保は不相当である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	市がエコクラブと環境NPOや地域団体との橋渡しをすることにより、成果の向上が期待できる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	市内小中学校での環境保全活動を推進するために、こどもエコクラブ活動補助金を交付して、活動を支援する。	平成31年度計画	市内小中学校での環境保全活動を推進するために、こどもエコクラブ活動補助金を交付して、活動を支援する

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	環境活動表彰事業	事業コード
		1003

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	445
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	環境市民の育成	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	市民や市民団体の環境保全に関する取り組みを促進し、本市における環境活動の活性化を図る。				
	概要	「環境まちづくり活動」を積極的に実践している個人または団体を市民目線・市民主役により発掘し、優れた活動を顕彰するとともに、活動事例を広く市民に紹介することで、市における環境活動の活性化を図る。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
内容	次年度の環境フェア開催時に表彰する。					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	環境まちづくり大賞のチラシ配布	枚	目標値	300	300	500	500	500
			実績値	500	500	500		
	環境まちづくり大賞の啓発(広報さばえ)	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	環境まちづくり大賞応募者数	人または団体	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	13	16	15		
	計算根拠			達成率(%)	130	160	150	
				実数値				
		ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.05
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	170	216	216	216	216	
	決算額	170	216	216	216		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	応募団体の中から、表彰団体を選考しており、減少しているものの応募者はある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	表彰制度であり、広く周知するためにも必要である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	環境教育の一環として行っているものであり、当該事業での財源確保は現状では無理である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	青年層およびシルバー層に周知することにより応募者の増加が見込める。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	「エコプラザさばえ」に事業を委託し、NPO等のネットワークを活用して、環境活動を実施している個人や団体の情報を入手し、環境活動の活性化を図る		平成31年度計画

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	環境活動団体補助事業	事業コード
		1005

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	445
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	環境市民の育成	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	環境まちづくり活動の活性化および環境市民の育成を図る。				
	概要	活動助成補助金を交付する。 また、環境フェア、環境教育支援センターなどで、環境啓蒙活動の協力を依頼する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	環境活動を実施している非営利環境団体へ、補助率2/3で、10万円を限度として補助する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	※設定困難		目標値						
			実績値						

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	補助件数	件	目標値	5	5	5	5	5	
			実績値	3	6	6			
	計算根拠		達成率(%)	60	120	120			
			実数値						
		ランク	C	A	A				

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	600	600	600	600	600	
	決算額	283	300	600	600		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	これまでの取組みにより個人の環境保全意識は高まっている。これら個人をNPOとして組織化するための初期経費を支援するため、そのニーズは十分ある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	NPO等の組織化・育成という観点から、行政がその活動を支援する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	地球温暖化問題等、地域団体の環境に関する意識も高まってきており、継続的にニーズがある。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	環境教育の一環として行っているものであり、当該事業での財源確保は現状では無理である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	青年層の環境活動や高齢者の環境活動の誘発になる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	環境活動団体に新規事業の取組みを奨励するとともに地域の環境保全や環境教育などを行う環境活動団体に10万円を限度に補助する。	平成31年度計画	環境活動団体に新規事業の取組みを奨励するとともに地域の環境保全や環境教育などを行う環境活動団体に10万円を限度に補助する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】							<input type="text" value="不可能"/>
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	不法投棄防止対策事業	事業コード 1574
------------	------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	443
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	不法投棄の根絶					
	概要	不法投棄の根絶のため、パトロールを実施するとともに、広報のほか看板を設置して、不法投棄防止の意識啓発に努める。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	市直営				
	内容	市広報・不法投棄防止の看板作成委託					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	不法投棄の根絶のためのパトロール回数		回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	6	6	12		
	不法投棄の根絶のための啓発看板設置数		個	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	21	11	7		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	不法投棄の処理件数		件以下	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	58	68	81		
計算根拠			達成率(%)	172.4	147.1	123.5			
			実数値						
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	142	160	169	191	100			
	決算額	142	86	96	191				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	不法投棄はされるべきでない。事前に防止するための啓発は必要。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	啓発は市が積極的に行う必要あり。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要最低限のコストで対応している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	仮に、ごみの有料化を導入しても、当該財源を本事業に使用することは不適當である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	既に実施中ではあるが市民・関係各機関と協力して啓発等を行い不法投棄の防止に努めることが必要。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 不法投棄防止に関する広報および看板作成、監視カメラの活用により、まち美化を推進する。	平成31年度計画 不法投棄防止に関する広報及び看板作成、監視カメラの活用地域巡回強化により、まち美化を推進し不法投棄の根絶のため、パトロールを実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	一般環境監視調査事業	事業コード	1582
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	442
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	公害の防止	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	1973	終了年度	9999
	目的	環境監視を継続して実施することにより、公害の未然防止に努め、自然環境の保全を図る。				
	概要	毎年作成する環境監視測定計画に基づき、大気・水質・騒音・振動について測定・分析を行い、環境の状況の把握に努め、鯖江の豊かな自然と人との共生できる環境の維持に努める。				
	法令根拠	鯖江市公害防止条例				
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	分析業務については、民間に委託して実施する。				

DO(実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	設定困難		箇所	目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	測定箇所数		項目	目標値	64	64	64	64	64
				実績値	64	64	64		
	計算根拠			達成率(%)	100	100	100		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	0.5				
	経費区分	物件費		※所要時間	0				
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	10,337	11,206	11,416	11,502	10,988			
	決算額	10,110	11,206	11,296	11,502				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	身近な環境の監視および生活環境の保全是、市民のニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	環境問題は市民への影響が大きいため、条例制定、立入権を行使し得る市が行うべきで ある。	
	効果・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ある"/>	主体	県	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	県域での環境監視	
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	市域での細かな監視が必要である。	
			所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	必要最低限のコストで対応している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	県からの委託項目については、現在委託金を受けて実施しているが、補助制度等はない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	調査結果を公表することにより、市民および事業者の環境保全意識が向上し、環境保全 活動を促進できる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 調査結果の検証をしつつ、継続して調査を実施する。	平成31年度計画 調査結果の検証をしつつ、継続して調査を実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	一般廃棄物収集運搬適正処理事業	事業コード 1587
------------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 安心で快適に暮らせるまちの創造	基本施策 市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	実施施策 循環型社会の推進
	443			

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、家庭からごみステーションに排出されたごみの収集・運搬等を実施し、一般廃棄物の適正処理を行う。					
	概要	家庭用一般廃棄物【燃えるごみ、燃えないごみ、資源物(空き缶他10種)、有害物(乾電池他2種)】を収集する。					
	法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)				
	内容	啓発：市 収集業務：委託					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	ごみ収集日数(不燃ごみ・資源物)	日	目標値	190	190	190	190	190
			実績値	190	190	190		
	ごみ収集日数(可燃ごみ)	日	目標値	205	205	205	205	205
			実績値	205	205	205		

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	1人1日当たりごみ排出量	g/人・日	目標値	936	900	900	900	870	
			実績値	966	890	907			
	計算根拠	ごみ総排出量/鯖江市人口/当該年度の日数		達成率(%)	96.9	101.1	99.2		
				実数値	24059/68246/365	69193/365	22922/69263/365		
ランク				A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位：千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	203,000	210,000	196,000	199,000	201,000	
	決算額	189,762	198,937	184,592	187,152		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ごみ収集事業は市民生活上必須の事業。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により、市が行う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最低限のコストで対応している。なお、収集単価については、経済変動を踏まえ、見直す必要がある。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ごみの有料化により、ごみの減量化が期待できるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持
	平成30年度取組み ごみの減量化、資源化を進めるため、ごみ処理基本計画に基づき、適正な家庭からの一般廃棄物(燃えるごみ・燃えないごみ・資源物(空き缶他10種)・有害物(乾電池他2種))のステーション排出を指導するとともに、排出量の削減、分別の徹底啓発に努める。	平成31年度計画 ごみの減量化、資源化を進めるため、ごみ処理基本計画に基づき、適正な家庭からの一般廃棄物(燃えるごみ・燃えないごみ・資源物(空き缶他10種)・有害物(乾電池他2種))のステーション排出を指導するとともに、排出量の削減、分別の徹底啓発に努める。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	資源物リサイクル推進事業	事業コード
		1593

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進
443				

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	1992	終了年度	9999
	目的	適正なごみの分別を徹底するため、市の広報やホームページをはじめ、出前講座やまちづくりモニター制度による現地啓発等を行い、町内ステーションに出された資源物のリサイクル率の向上を図る。					
	概要	家庭ごみのうち、資源物として町内ステーションに排出される、古紙、トレー、プラスチック類、繊維類等の分別、排出の徹底を図り、生活系一般廃棄物における、リサイクル率の向上に努める。					
	法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	啓発：市 収集処理：委託					

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	総資源化量	t	目標値	2,800	2,800	2,800	2800	2800	
		実績値	2,663	2,735	2100				

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	家庭ごみリサイクル率	%	目標値	20	20	20	20	21	
			実績値	16.7	18.4	13.8			
	計算根拠	ST資源物（民間回収）＋市民団体等集団回収資源物/STごみ排出量＋市民団体等集団回収資源物		達成率(%)	83.5	92	69		
			実数値	2663/15905	2735/14832	2100/15166			
			ランク	B	B	C			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位：千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	12,758	12,000	13,820	17,570	18,270	
	決算額	9,109	9,062	12,673	16,795		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	ごみ減量化・資源化推進事業は循環型社会推進をする上で必須の事業。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により、市が行う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
事業名					
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要最低限のコストで対応している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="事務改善"/>
	平成30年度取組み 家庭ごみのうち、資源物として町内ステーションに排出されるトレーなどの容器包装類や、製品プラスチック等の分別、排出の徹底を図り資源化に努める。	平成31年度計画 家庭ごみのうち、資源物として町内ステーションに排出されるトレーなどの容器包装類や、製品プラスチック等の分別、排出の徹底を図りごみ有料化に向けての資源化の推進を図る。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	地下水汚染対策事業	事業コード	1595
------------	-----------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	442
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	公害の防止	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	地下水揚水処理施設整備事業の効果を測定する。				
	概要	地下水汚染区域および周辺の井戸において、年2回～4回定期的にモニタリング調査を実施し、ガスクロマトグラフ質量分析計(GS-MS)により有機塩素系化合物の分析を行い、継続して汚染状況の監視に努める。				
	法令根拠	水質汚濁防止法				
実施形態	現在	市直営				
内容	地下水に含まれる汚染物質の濃度を低減するため、水質の浄化を行うとともに、水質調査を実施し、住民への周知に努める。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	測定項箇所数		箇所	目標値	60	60	60	60	60
				実績値	60	60	60		
	計算根拠			達成率(%)	100	100	100		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託	0.5			
	経費区分	物件費			※所要時間	0			

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	5,589	5,112	5,279	5,514	4,813	
	決算額	5,589	4,653	4,936	4,699		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	地下水の浄化および保全は市民のニーズがある。		
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	地下水汚染問題は、住民への影響が大きく、条例制定、立入権を行使し得る市が行うべきである。		
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>	
			事業名			
		根拠				
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
			事業名			
根拠						
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	水質分析を委託した場合には、多大な費用がかかるため、直営で分析調査を行うことによりコストの低減をしている。			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助金・交付金制度等はない。			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	調査結果を公表することにより、飲用に利用している市民の健康・安全を確保できる。			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 地下水汚染がある区域を中心に定期的なモニタリング調査を実施する。	平成31年度計画 地下水汚染がある区域を中心に定期的なモニタリング調査を実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	定置式可燃ごみ収集容器設置補助事業	事業コード 1597
------------	-------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	443
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	町内の固定式可燃ごみ収集容器設置への助成補助を実施し、適正なごみ集積所の設置で市内の環境美化の向上を図る。				
	概要	固定式可燃ごみ収集容器の製造または、購入に対する補助を行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	廃棄物容器製造または購入事業に対し、5万円を上限に補助している。				

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値				
				実績値				

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	対応率	%		目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	
	計算根拠	補助件数/補助申請件数		達成率(%)	100	100	100	
				実数値	13/13	30/30	23/23	
			ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.05
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,000	1,000	1,073	1,000	1,000	
	決算額	454	607	1,073	903		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	年間数件の要望あり。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	助成補助であり市が行う必要がある	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	所管課	協働参画推進課	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
			事業名	各町内への補助事業	
根拠			環境課での補助は、廃棄物容器製造または購入事業が対象となる。		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	年間数件の要望があり削減、廃止は難しい。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="受益者負担"/>	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。	
			【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	可燃ごみステーションの統廃合

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	固定式および移動式（折りたたみ式）燃ごみの収集容器の製造、購入に対し補助率2分の1で5万円を限度に補助する。	平成31年度計画	固定式および移動式（折りたたみ式）燃ごみの収集容器の製造、購入に対し補助率2分の1で5万円を限度に補助する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	騒音・振動・悪臭調査事業	事業コード 1599
------------	--------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 安心で快適に暮らせるまちの創造	基本施策 市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	実施施策 公害の防止	442
------	--------	-------------------------	---	---------------	-----

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	1973	終了年度	9999
	目的	環境監視を継続して実施することにより、公害の未然防止を図る。				
	概要	毎年作成する「環境監視測定計画」に基づき、市内の主要道路を中心に自動車騒音・振動の測定を行うとともに、悪臭を発生するおそれがある事業所について対象となる悪臭物質の測定・分析を行い、改善指導等を実施する。				
	法令根拠	騒音規制法、振動規制法				
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	関係機関への許可申請については市が行い、測定調査については、委託して実施する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	※設定困難		目標値						
			実績値						

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	延べ測定地点数（騒音12+振動6+悪臭3）	箇所	目標値	21	21	21	21	21	
			実績値	21	21	21			
	計算根拠	達成率(%)		100	100	100			
実数値									
		ランク	A	A	A				

会計	一般会計	事業タイプ	単独事業	事業要員	正規職員	0.1
経費区分	物件費			臨時・嘱託		
				※所要時間		0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	2,419	2,369	2,369	2,352	2,357	
	決算額	2,222	2,325	2,268	2,329		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	身近な環境の監視および環境保全は市民のニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民の生活、健康、不安などを解消するうえで、監視指導する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	最低限のコストで実施している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助制度等はない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	調査結果を公表することにより、市民および事業者の環境保全に対する意識が向上し、 保全活動の促進につながる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 市内の主要道路を中心に自動車騒音・振動の行うとともに、悪臭を発生するおそれがある事業所について悪臭の調査を実施する。	平成31年度計画 市内の主要道路を中心に自動車騒音・振動の行うとともに、悪臭を発生するおそれがある事業所について悪臭の調査を実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	生ごみリサイクル推進事業	事業コード 1600
------------	--------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	443
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ごみの現状を分析するために、毎年、「家庭系燃えるごみ」の組成調査を行っているが、特に、重量比率で「生ごみ」の割合が40%以上と高い状況にある。そこで、市域の家庭生ごみ減量化、資源化の取り組みとして、「生ごみリサイクル市民ネットワーク」活動支援および「ダンボールコンポスト」の推進により、生ごみの減量化、資源化に努める。				
	概要	市内全地区に活動グループがある「生ごみリサイクル市民ネットワーク」への活動補助金の交付および「ダンボールコンポスト」の講習会開催および受講者への基材提供により家庭生ごみの減量化、資源化を図る。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託（一部）				
内容	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」への補助金交付および「ダンボールコンポスト」普及啓発事業の民間委託					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難		目標値					
			実績値					

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	家庭生ごみリサイクルの取組み世帯数	世帯	目標値	2,500	2,700	2,700	2,700	2700
			実績値	2,476	2,582	2,718		
	計算根拠	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」加入世帯数+「ダンボールコンポスト」取組み世帯数(累計)		達成率(%)	99.0	95.6	100.6	
		実数値						
			ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.05
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,900	2,300	2,300	1,900	1,900	
	決算額	1,900	2,300	2,300	1,726		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	家庭からの生ごみを堆肥化し、家庭菜園等での利用を図りたい市民は多く、ニーズは高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	市域の家庭生ごみ堆肥化を推進するものあり、ごみの減量・資源化の一環として実施しているものである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	可燃ごみの有料化により、上記理由により補助金廃止可能となると考えられるが、まずは導入の検討が必要にある。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	可燃ごみの有料化により、ごみの減量化・資源化は個人負担の軽減につながるため、当該補助金額は受益者負担が妥当となるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	事務改善	【平成31年度 方向性】	内容縮小
	平成30年度取組み	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」のEM菌活用の必要経費に対して、1/2の補助をするとともに、「ダンボールコンポスト」講習会の受講者に基材を提供することにより、生ごみの減量化、資源化を図る。	平成31年度計画	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」のEM菌活用の必要経費に対して、1/2の補助を予算枠にするるとともに、「ダンボールコンポスト」講習会の受講者に基材を提供することにより、生ごみの減量化、資源化を図る。必要経費に対しての補助の見直し縮小に向けて検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】		<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	ごみ減量化・資源化市民啓発事業	事業コード 1604
------------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	443
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ごみの分別や減量の目的・方法について、広く市民に啓発し、家庭から発生するごみの減量化・資源化をめざす。					
	概要	ホームページや広報等を通じて広く市民に啓発する。また、見学コースについても適時見直すなど、見学会の内容を常に検討を行い、住民のごみ減量化・資源化意識の向上を図る。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	リサイクル施設に係る見学会案内事務をNPOに委託して実施する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	ごみ処理・リサイクル施設見学会開催回数		回	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	ごみ処理施設・リサイクル施設見学参加者数		人	目標値	170	170	170	170	170
				実績値	168	197	179		
	計算根拠	リサイクル施設・ごみ処理施設見学参加者数（夏休み親子リサイクルツアー、区長会のごみ処理施設等視察等）			達成率(%)	98.8	115.9	105.3	
					実数値				
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.05			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	物件費			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	260	400	400	400	400			
	決算額	260	400	400	400				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	地球温暖化を少しでも防止するためにも「ごみ減量化・資源化市民啓発事業」は必要。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	循環型社会を構築するため、ごみの減量化・資源化は必要不可欠である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最低限のコストで対応している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 受益者負担	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	可燃ごみの有料化による経済的動機付けにより、市民意識の向上が見込めると考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 事務改善
	平成30年度取組み	親子および市民団体、区長に対し、重点的にリサイクル施設見学会を周知し、多くの参加者が見込める見学会を企画、実施する。	平成31年度計画	リサイクル施設見学会を通し、親子で学べる環境教育の場を企画し、環境を担う人材づくりを目指すエコネットさばえの事業との統合を検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	河川環境保全活動推進事業	事業コード	1616
------------	--------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	446
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	美化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	河川等の美化、愛護思想の普及、意識の高揚活動の実践に寄与する。				
	概要	「日野川を清く美しくする会」が実施する河川等の美化、愛護活動事業に対する補助を行う。				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	補助金等交付			
	内容	団体の事務局を環境課が行っている。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	会報の発行回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		

DO(実施)	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	河川清掃の実施		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	計算 根拠				達成率 (%)	100	100	100	
			実数値						
				ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業 要員	正規職員	0.6
	事業タイプ	補助(県)事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,176	1,200	1,200	1,200	1,200	
	決算額	1,176	1,200	1,200	1,200		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	日野川およびその支流の河川は、環境の変化（汚れや生態系）を身近に感じることが できる空間であり、市民の関心が高い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	日野川およびその支流の河川美化は、市民全体で取り組む事業であるため、市がその先 導的な役割を担う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	各活動は最低限の費用で運営しているため、削減の余地はない。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>		根拠	現在、県の補助制度を活用		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	地域住民の環境保全意識の向上のために、可能な限りの成果を上げている。			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 自然環境保全意識の高揚を図るため、環境美化活動や自然愛護活動を継続して実施する。	平成31年度計画 自然環境保全意識の高揚を図るため、環境美化活動や自然愛護活動を継続して実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>	
年度	H26(2014) H27(2015) H28(2016) H29(2017) H30(2018) H31(2019)
取組選択	不可能 不可能 不可能 不可能 不可能 不可能
実施状況	未実施 未実施 未実施 未実施 未実施 未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	生活排水路等環境美化事業	事業コード 1807
------------	--------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	446
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	美化活動の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	生活環境、公衆衛生、環境美化の向上を図る。				
	概要	町内会が実施した排水路の清掃後の土砂・泥等の回収処分等を行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託（一部）			
	内容	泥回収等の業務を業者に委託している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算根拠	土泥等回収実施件数/土泥等回収要望件数		達成率(%)	100	100	100		
				実数値	111/111	118/118	126/126		
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	物件費			※所要時間	0			

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	10,000	9,000	8,000	5,500	5,400	
	決算額	3,653	4,181	6,687	4,389		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	各町内からの要望に沿って実施しているので市民ニーズは十分ある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	側溝の泥等は公共施設からの一般廃棄物であり市が処理処分するのが妥当である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	泥の処分や暗渠清掃といった部分は現在行っている専門的技術を保持している業者に委託する必要があり、これまでの需要実績を考慮してもコスト削減は難しい。		
		根拠	公共性の高い事業であり、受益者負担等の財源確保は困難である。		
		根拠	本事業は入札により委託業者・価格を決定しており、これ以上の成果向上は困難である。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	町内清掃・暗渠清掃から発生した土砂・泥等の回収処分を行う。	平成31年度計画	町内清掃・暗渠清掃から発生した土砂・泥等の回収処分を行う。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	「どんぐりからの森づくり」推進事業	事業コード 2921
------------	-------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	自然環境の保全

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	市民団体の「越の郷地球環境会議」が主体となり、鯖江市内12の全小学校の3年生がどんぐり拾いを行い、4年生でポット苗を作り、6年生での植樹することで森づくりからの環境保全の重要性を認識してもらい「どんぐりからの森づくり」事業を平成24年度も継続し、市民協働による地球温暖化防止のための森づくりを展開していく。また、一般市民を対象とした森づくりからの環境保全の重要性を啓発するための国際フォーラムを開催する。				
	概要	潜在自然植生の育成管理、植樹事業として、小学校の苗づくり支援、圃場整備(王山農園・片上圃場(もりもりファーム)をするとともに、一般市民対象の森づくりシンポジウムや小学生による植樹祭などを開催し、森づくりによる地球環境保全の必要性を呼びかける。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託(全部)				
	内容	児童や市民対象の森づくり活動や植樹祭の企画・運営				

活動指標								
指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
市広報やホームページによる広報活動	回	目標値		2	2	2	2	2
		実績値		2	2	2		

成果指標								
指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
参加人数	人	目標値		700	700	700	700	700
		実績値		724	710	1017		
計算根拠			達成率(%)	103.4	101.4	143.2		
			実数値					
				ランク	A	A	A	

DO(実施)	会計	一般会計	事業要員	正規職員	
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	100

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	1,000	800	800	800	800	
	決算額	800	800	800	800		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	森づくりによる豊かな自然環境の保全を望んでいる。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	環境市民条例第11条で 市は、環境教育および環境学習を体系化するとともに、その 推進に努めなければならないと規定されている。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最低限の予算で事業を実施している。	
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	環境に配慮した行動をする市民（環境市民）を育成する目的で実施する事業の一環であ り、事業の性質上、参加費を徴収するのは不適當である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	市民団体および市が連携して、それぞれで実施している地球温暖化防止に関する事業を 複合的に実施することで、より多くの成果が期待できる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 内容縮小
	平成30年度取組み 市民に事業を周知するために市民植樹祭を実施すると共に、市内小学校児童を対象にした植樹を継続する。小学校児童を対象にした植樹会場を変更予定	平成31年度計画 市民に事業を周知するために市民植樹祭を実施する場所がなく、市内小学校児童を対象にした植樹を継続する。小学校児童を対象にした植樹会は、中野町原地係に変更し、実施する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	グリーンカーテン普及促進事業	事業コード 2949
------------	----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	地球温暖化防止対策の推進
444				

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	家庭、事業所、学校等における夏場の省エネを推進するとともに、地球温暖化防止意識を高めるための目に見える啓発手段として、また、環境市民育成のための環境教育の一環として①「グリーンカーテンコンテスト」を実施する。また、市の取組として②市庁舎グリーンカーテンも継続する。					
	概要	グリーンカーテン普及促進事業を「エコプラザさばえ」に委託①「グリーンカーテンコンテスト」説明会参加者・応募者全員にゴーヤの苗を無料進呈し(個人2本団体10本)、家庭等でグリーンカーテンを栽培してもらう。また、グリーンカーテンの効果やエコに対する取組等を記載し生育の写真からなる「育成レポート」の提出をコンテストの応募条件とし、表彰者を決定する。②市庁舎グリーンカーテンは現行と同規模で行う。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	民間等委託(一部)				
	内容	グリーンカーテンコンテスト・広報さばえ・市庁舎グリーンカーテン設置業務については、提案型市民主役事業で実施。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	「市ホームページ」や「広報さばえ」による広報活動回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	グリーンカーテン取組み者数		人	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	221	293	239		
	計算根拠			達成率(%)	88.4	117.2	95.6		
				実数値					
				ランク	B	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員				
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間		100		
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	550	594	594	594	594			
	決算額	550	594	594	594				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	夏場の省エネ対策を推進し、地球温暖化防止対策としての見える化事業。市庁舎でのグリーンカーテンは、市が率先して地球温暖化防止対策取組んでいる姿をPR。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	省エネ対策推進の一環として行政が行う。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
	類似重複	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最低限の予算で事業を実施している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	環境に配慮した行動をする市民（環境市民）を育成する目的で実施する事業の一環であり、事業の性質上、参加費を徴収するのは不適當である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	市民団体および市が連携して、それぞれで実施している地球温暖化防止に関するアイデアコンテストを複合的に実施することで、より多くの成果が期待できる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="事務改善"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="統合"/>
	平成30年度取組み	「エコプラザさばえ」に、グリーンカーテン普及促進事業を委託し、事業所等および市民を対象に講習会を開催して、取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止の意識を高めていく。		平成31年度計画 「エコプラザさばえ」に、さばECO（鯖江っ子）ストップ温暖化チャレンジ事業・グリーンカーテン普及促進事業を委託し、事業所等および市民を対象に講習会を開催して、取り組みを推進するとともに、地球温暖化防止の意識を高めていく。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	さばECO (鯖江っ子) ストップ温暖化チャレンジ事業	事業コード 3054
------------	-----------------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	地球温暖化防止対策の推進

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	鯖江市地球温暖化対策地域推進計画の目標達成に向け、市、市民、事業者で構成する協議会を設置し、市域のCO2削減に向けた取り組みの具体的な推進について協議する。また、平成27年度までに25% (5500世帯) における家庭のCO2削減を目指し、家族でCO2削減に取り組むチャレンジファミリー登録制度を実施する。さらに、夏季と冬季における家庭での省エネ (節電) を推進するため、節電チャレンジ大作戦を実施する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 「さばECOチャレンジファミリー」登録制度を実施 (平成24年度は1000世帯以上の登録) し、1家族1日2kgのCO2削減に挑戦 さばえ版環境家計簿『さばえECOライフブック』の作成、配布 省エネナビ、エコワットの貸し出し (CO2の見える化により省エネ意識の高揚を図る) 節電ダイエットチャレンジ大作戦 (夏季、冬季の各3ヵ月) の電力使用量削減 (仮称) ストップ温暖化さばえ推進協議会の設置 (学識経験者、市民代表、事業所代表、学校関係、団体代表等) 				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託 (一部)				
内容	環境課と環境教育支援センターが窓口となり、省エネナビの貸し出し等を行い、家庭における温暖化対策の普及啓発に取り組む。					

活動指標								
指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
ストップ温暖化さばえ推進会議の開催	回	目標値	3	3	3	3	3	
		実績値	1	1	1			

成果指標								
指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
省エネチャレンジファミリー登録数 (累計)	世帯	目標値	1,500	1,500	1,500	1500	1500	
		実績値	1,870	2,406	2806			
計算根拠	達成率 (%)		124.7	160.4	180.6			
	実数値							
		ランク	A	A	A			

会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.05
事業タイプ	単独事業	事業要員	臨時・嘱託	
経費区分	物件費	事業要員	※所要時間	0

【単位:千円】

区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
事業費	500	540	540	540	540	
	500	540	540	540		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	特に、夏季、冬季のエネルギー削減が求められている	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	温暖化対策地域推進計画に基づき実施する	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	類似重複	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	必要最低限の予算で事業を実施している。		
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	環境に配慮した行動をする市民（環境市民）を育成する目的で実施する事業の一環であり、事業の性質上、参加費を徴収するのは不適當である。	
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	市民団体および市が連携して、それぞれで実施している地球温暖化防止に関するアイデアコンテストを複合的に実施することで、より多くの成果が期待できる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 事務改善	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 統合
	平成30年度取組み	省エネに取組む登録者数を増やすため市民団体等のネットワークを活用した広報、啓発を行う。家庭での省エネ活動に取り組んだ方に景品などをプレゼントする。	平成31年度計画	グリーンカーテン普及促進事業・環境省エネに取組む登録者数を増やすため市民団体等のネットワークを活用した広報、啓発を行う。家庭での省エネ活動に取り組んだ方に景品などをプレゼントする。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	水・人・生きものが共感できる里づくり事業	事業コード 3127
------------	----------------------	---------------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	441
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オ シャレなまち～	自然環境の保全	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	市と地域住民が中心となり許佐羅江清水を地域の宝として将来的にわたり保全し、県域絶滅危惧Ⅰ類指定の希少種であるトミヨをこの清水に呼戻し、自然保護意識の醸成と自然環境保全活動の活性化を図る。				
	概要	地元住民等が中心となってトミヨの飼育管理体制等を整えるための「地域協議会」設立およびトミヨ見学のバスツアーを開催する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
内容	「地域協議会」を開催し、トミヨが生息できる許佐羅江清水の管理を協議する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	許佐羅江清水の水質検査回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	湧水の里復活プロジェクトワーキング会議開催回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	計算根拠				達成率(%)	100	100	100	
					実数値				
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1				
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託					
	経費区分	物件費		※所要時間	0				

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	182	125	143	113	113	
	決算額	27	32	92	32		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	市との連携でこのプロジェクトの実行が望まれている	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	住民との連携で行うプロジェクトで、市が事務局を担う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	地元と清水の保全のあり方について協議中であり、必要最小限の予算で事業を実施して いる。		
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>		根拠	地元と清水のあり方について協議中である。		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	地元と清水のあり方について協議中である。			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="事務改善"/>
	平成30年度取組み 湧水の里復活プロジェクトワーキング会議を開催し、地 域住民や環境団体と市が連携して一体的に事業を展開す る。	平成31年度計画 湧水の里復活プロジェクトワーキング会議を開催し、地 域住民や環境団体と市が連携して一体的に事業を展開 し、市と地域住民が中心となり許佐羅江清水を地域の宝 として将来的にわたり保全し、県域絶滅危惧Ⅰ類指定の 希少種であるトミヨをこの清水に呼戻し、自然保護意識 の醸成と自然環境保全活動の活性化を図る。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	小型廃家電リサイクル事業	事業コード	3128
------------	--------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	443
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づき、小型廃家電を分別収集し、再資源化を適正に行なう事業者に引渡すことで再資源化を促進する。				
	概要	市役所、市内各公民館、量販店等に専用の回収ボックスを設置し、市民に使用済となったデジタルカメラ、携帯電話、電卓等を持込んでもらう。(現在は燃えないごみとして週1回ステーション回収、クリーンセンターで破砕処理後鉄・アルミのみ回収) 週1回民間(シルバー人材センター)が回収、ストックヤードへ搬入後保管する。 月2回資源化事業者まで運搬し、適正処理を行い再資源化する。				
	法令根拠	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律				
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			
	内容	啓発、回収、再資源化処理				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	広報さばえへの掲載		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	小型廃家電回収量		t	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	2.6	2.9	3.1		
	計算根拠			達成率(%)	86.7	96.7	103.3		
				実数値					
				ランク	B	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称		
	予算額	722	220	100	50	50			
	決算額	521	0	0	0				

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	循環型社会構築のニーズは大きい	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律で行政の責務が定められている。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	保守管理経費は必要最低限で、また、回収業務は市職員が行っている。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	回収量が増大すれば、必要経費を上回る歳入も考えられるが、現段階では条件を満たす回収量が得られていない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	集団回収が考えられるが、必要経費の問題があり、現段階では時期尚早である。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 回収効率のよい量販店等に回収ボックスを設置し、ごみの分別ポスターや後方、HPなどで啓発を行いながら、事業を推進する。	平成31年度計画 回収効率のよい量販店等に回収ボックスを設置し、ごみの分別ポスターや後方、HPなどで啓発を行いながら、事業を推進する。 委託を検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	水と自然と歴史文化に出会える郷づくり事業	事業コード 3216
------------	----------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 安心で快適に暮らせるまちの創造	基本施策 市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	実施施策 自然環境の保全	441
------	--------	-------------------------	---	-----------------	-----

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	生物多様性の保全に配慮しつつ、地域の特性や環境資源の特徴を生かした自然環境の保全を目指し、各地域住民や団体と市が連携して、活動を展開することで、各地域の環境資源を活かした特色ある環境保護活動の推進を図る。					
	概要	「ふくいおいしい水」に認定された5つの清水の特徴などについて、水質検査を継続すると共に、各清水を守る団体等と連携し、各清水の水質の特徴や地域の歴史・文化資源などを盛り込んだ湧水カラーマップを作成して、湧水をPRする。					
	法令根拠						
実施形態	現在	民間等委託（一部）					
内容	湧水カラーマップ作成および湧水PRについては民間に委託する。						

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	水質分析検査（5箇所）	回	目標値	10	10	10	10	10	
		実績値	10	10	10				

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	水質基準の順守	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	90	100	100			
	計算根拠	水質分析検査箇所数×水質基準値内回数/水質分析検査箇所数×検査回数		達成率(%)	90	100	100		
			実数値	9/10	10/10	10/10			
			ランク	B	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.2
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	804	766	678	614	629	
	決算額	577	715	678	486		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	清水めぐりおよび湧水の飲用に関する市民ニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	不特定多数の者が湧水を飲用するため水質分析検査は市が行うべきである。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠	ふくいのおいしい水認定制度は競合するものではなく相乗効果をねらいとするものである。		
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>	
事業名					
根拠	環境保全業務以外にはない。				
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/>	根拠				
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	補助事業がないため、単独事業で実施する以外ない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ふくいのおいしい水認定制度およびカラーマップを活用することで市内外にPRできる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 事務改善
	平成30年度取組み	「ふくいおいしい水」に認定された5つの清水について、市民が安心して飲用できるよう、水質検査を実施し、良好な水質を維持する。	平成31年度計画	「ふくいおいしい水」に認定された5つの清水について、市民が安心して飲用できるよう、水質検査を実施し、良好な水質を維持し、地域の特性や環境資源の特徴を生かした自然環境の保全を目指し、各地域住民や団体と市が連携して、活動を展開することで、各地域の環境資源を活かした特色ある環境保護活動の推進を図る。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	犬の飼い方マナーアップ イエローカード作戦事業	事業コード 3289
------------	-------------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	景観に対する住民意識の高揚

448

PLAN(計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	市が町内会等の活動を支援して、協働で一部のマナーの悪い犬のふん放置に対して、その飼い主のふん処理マナーの向上を働きかけることにより、きれいなまちづくりを推進する。				
	概要	放置されたふんの横にイエローカードを設置することにより、地域ぐるみで犬のふん放置を監視していることを飼い主に認識させ、犬の飼い方マナーの向上により、ふんの放置がない清潔なまちを目指す。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	町内会を通して、ボランティアによる犬のふん放置監視活動への参加・協力を呼びかけて実施する。				

活動指標								
指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
広報による啓発	目標値			1	1	1	1	1
	実績値			1	1	1		

成果指標								
指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
実施町内数	目標値	団体		1	1	1	1	1
	実績値			1	1	1		
計算根拠	実施町内数	達成率(%)		100	100	100		
		実数値						
		ランク		A	A	A		

DO(実施)	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額		200	12	25	0	
	決算額		60	12	0		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	飼い主のふん処理マナーの向上を求める市民ニーズがある	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	マナー向上の啓発は、行政関係機関が行なうべき	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="可能"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="可能"/>
			事業名		
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="統合"/>
	平成30年度取組み 町内会との協働によるマナー向上の啓発活動を実施する。	平成31年度計画 町内会との協働によるマナー向上の啓発活動を実施しま ち美化事業に統合する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	外来植物防除等自然環境保全活動支援事業	事業コード 3290
------------	---------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	441
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	自然環境の保全	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	外来植物の侵入は、在来の生態系や景観を損なうほか、農林水産業への悪影響などの原因になるとされているため、市が、住民団体等が主体となって実施する外来植物の防除・駆除活動や生態系の保護、かつて生息していた動植物の再生・保護活動、希少種の保全活動を支援することにより、地域における在来植物の生態系を保全する。					
	概要	自ら企画・実践する外来植物駆除活動や、生態系の保護、かつて生息していた動植物の再生・保護活動、希少種の保全活動に対して補助することで、地域の自然環境を保全する。					
	法令根拠						
実施形態	現在	補助金等交付					
内容		駆除方法アドバイザー謝礼や駆除活動経費、生息環境保全活動経費を助成する。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	広報および市ホームページによる啓発			目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		

DO(実施)	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	実施団体数		団体	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	9	5	5		
	計算根拠			達成率(%)	180	100	100		
		実数値							
				ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額		500	417	230	180	
	決算額		46	67	68		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	地域の自然環境の保全に関する住民ニーズがある	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	啓発や活動支援は市が積極的に行なう必要あり	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
		事業名			
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要最低限の支援内容としている			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助制度等はない		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	活動取組団体等の増加により、地域の自然環境保全に対する意識が向上し、保全活動の 促進に繋がる		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 広報さばえ、市ホームページで啓発し、取組団体に対し 1万5千円を上限に活動支援を行なう。	平成31年度計画 広報さばえ、市ホームページで啓発し、取組団体に対し 1万5千円を上限に活動支援を行なう。取組団体に対し 自主活動推進を図る。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>	
年度	H26(2014) H27(2015) H28(2016) H29(2017) H30(2018) H31(2019)
取組選択	不可能 不可能 不可能 不可能 不可能 不可能
実施状況	未実施 未実施 未実施 未実施 未実施 未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	食べきり、水切りごみ減量化事業	事業コード 3291
------------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	443
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	燃えるごみの約4割を占める生ごみの減量化を促進するため、ごみとして排出する前の生ごみ水切りの徹底と料理の食べきり普及により生ごみの減量化を推進する。					
	概要	生ごみ水切りの啓発を図るとともに、食べ物を残さない「食べきり運動」の推進し、今後のごみ減量化に向けた施策への契機とする。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	市直営				
	内容	生ごみの水切りや「食べきり運動」を推進するため啓発活動を行なう。					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	食べきり運動に関する啓発			目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	「食べきり運動」における啓発活動回数		回	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	9	9	9		
	計算根拠	イベントでのブース設置回数および地域活動回数		達成率(%)	112.5	112.5	112.5		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	物件費			※所要時間	0			

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額		270	0	0	0	
	決算額		179	0	0		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	ごみの減量化を図ることはごみ処理費用の削減となり住民福祉の向上に繋がる	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	一般廃棄物の減量に関し住民への活動促進を図ることは行政の事務である	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	予算なし		
		根拠			
		根拠			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	鯖江市連合女性会などの関係団体との協働で取り組む		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 事務改善
	平成30年度取組み	広報さばえ、市のホームページ、イベント等で啓発活動を行なうことにより、食品ロスを含め生ごみの減量化を図る。	平成31年度計画	燃えるごみの約4割を占める生ごみの減量化を促進するため、イベント等で啓発活動を行ない、食品ロスを含め生ごみの減量化を図り、ごみとして排出する前の生ごみ水切りの徹底と料理の食べきり普及により生ごみの減量化を推進する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	廃プラスチック類の分別資源化事業	事業コード 3370
------------	------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	443
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	循環型社会の推進	

PLAN(計画)	部署名	環境政策課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、資源化に努めているトレーやプラスチック製容器包装類のうち、汚れの付着などにより、再資源化基準を満たせないものや、燃やすごみで排出されているプラスチック類についても、分別回収、資源化することにより、燃やすごみの減量化、資源化の促進に努める。					
	概要	燃やすごみで処理しているプラスチック類等を資源物として分別回収を行い、民間業者に委託して、固形燃料化する。					
	法令根拠						
	実施形態	現在	民間等委託（一部）				
	内容	啓発：市 収集・処理：委託					

DO(実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	資源物ステーション数	箇所	目標値		290	290	290	290
		実績値		292	293			

DO(実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	容器包装以外のプラスチック類収集量	t	目標値		40	40	40	40
			実績値		50.7	46.4		
	計算根拠		達成率(%)		126.8	116.0		
		実数値						
		ランク		A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.17
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位：千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額			4,000	2,073	2,100	
	決算額			2,073	1,728		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	ごみ減量化・資源化推進事業は循環型社会推進をする上で必須の事業	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律により、市が行なう必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
	類似重複	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要最低限のコストで対応している。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	ごみ有料化による制度改革も考えられるが、導入の検討は、ごみ処理基本計画の策定、実施状況によってである。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	資源物を回収するステーションにおいて、廃プラスチック類のコンテナを設置し、回収して、固形燃料化する。	平成31年度計画	資源物を回収するステーションにおいて、廃プラスチック類のコンテナを設置し、回収して、固形燃料化する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	まち美化実践事業所支援事業	事業コード	3453
------------	---------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	446
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	美化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	福井国体に向けて、事業所による道路などの公共空間の美化活動への支援を行なうことにより、市と事業所の協働による美しいまちづくりを展開する。				
	概要	まち美化実践事業所が公共空間の美化活動を行う際に必要な消耗品等購入への支援を行う。				
	法令 根拠					
実施 形態	現在	市直営				
	内容	1事業所当たり20千円を上限に報償費を支払う				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	まち美化実践事業所新期登録数		件	目標値			35	10	10
				実績値			35		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	まち美化実践事業所登録数		件	目標値			35	50	60
				実績値			35		
	計算 根拠	事業所登録数		達成率 (%)			100		
				実数値					
			ランク			A			

タイプ	会計	一般会計	事業 要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業 費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額				1,000	500	
	決算額				74		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	主要道路沿線事業所を中心に美化活動への取組みやまち美化の実践事業所を登録するた め	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	主要道路沿線事業所を中心に美化活動への取組みやまち美化の実践事業所を登録するた め	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="可能"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ある"/>	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="可能"/>
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>		根拠			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 主要道路沿線事業所を中心に美化活動への取組みやまち 美化実践事業所への登録	平成31年度計画 自主活動を推進し美化活動への取組みやまち美化実践事 業所への登録事業の事業費の縮小を検討する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	まち美化活動表彰事業	事業コード	3454
------------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策	446
		安心で快適に暮らせるまちの創造	市民と共に“まち美化”の推進 ～きれいで、魅力的で、オシャレなまち～	美化活動の推進	

PLAN (計画)	部署名	環境政策課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	福井国体に向けて、市民、市民団体による道路や公園などの公共空間の美化活動の顕彰を行なうことにより、市と市民の協働による美しいまちづくりを展開する。				
	概要	福井国体に向けて、まち美化活動に積極的に取り組む地区、町内会等を表彰する。				
	法令 根拠					
	実施 形態	現在	民間等委託（全部）			
	内容	環境活動表彰事業と一体的に取り組む、区長会連合会総会で表彰する。				

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	広報誌等による周知回数	回	目標値			1	1	1
			実績値			1		

DO (実施)	成果指標							
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	まち美化活動に積極的に取り組む地区、町内会	件	目標値			10	10	10
			実績値			18		
	計算 根拠	達成率 (%)				180		
実数値								
	ランク				A			

タイプ	会計	一般会計	事業 要員	正規職員	0.05
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額				200	200	
	決算額				200		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	個人の環境美化意識は高まっているため、そのニーズは十分ある。市民、市民団体による道路や公園などの公共空間の美化活動の顕彰を行なうことにより、市と市民の協働による美しいまちづくりを展開する	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民、市民団体による道路や公園などの公共空間の美化活動の顕彰のため	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
		事業名			
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text" value="不可能"/>
事業名					
【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>		根拠			
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text"/>	根拠			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="統合"/>
	平成30年度取組み 市民、市民団体による道路や公園などの公共空間の美化活動の顕彰を行なうことにより、市と市民の協働による美しいまちづくりを展開する。	平成31年度計画 市民、市民団体による道路や公園などの公共空間の美化活動の顕彰を行なうことにより、市と市民の協働による美しいまちづくりを展開する。 統合に向けた検討要す。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施